

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

兵庫県南あわじ市
が応援するふるさと名物

「うず」が育む伝統文化
体験ツーリズム





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成30年2月20日

地域の
プロフィール



兵庫県南あわじ市

南あわじ市は、兵庫県の最南端に位置し、南部と西部はそれぞれ播磨灘、紀伊水道に面した人口4万9千人の都市です。紀淡海峡には、人口約500人の沼島が浮かび、古くから海運の要所及び漁業で栄えました。また、北部の先山山地、南東部の諭鶴羽山地、西の南辺寺山塊に囲まれた中央部には三原平野が広がり、たまねぎ、レタス、白菜など農業も盛んです。淡路島は平安時代には「御食国（みけつくに）」と呼ばれ天皇に食材を献上しており、食文化豊かな土地です。

主な地域資源

1

主な地域資源

南あわじは、播磨灘・鳴門海峡・福良湾・紀伊水道と4つの豊かな海域からなり、それぞれ違った特徴があります。

瀬戸内海と太平洋を分断する鳴門海峡から流れ出る「うず潮」の潮流は世界一速いと言われており、複雑に入り組む地形と絡み合い豊かな漁場を形成しています。

そこでとれる魚は身が引き締り、味も良いとの評判で鯛やわかめなど全国的なブランドになっているものも多数あります。また、近海で取れるハモは古くから京都祇園祭りで食されるなど、日本文化とも深いつながりがあります。

◆「大鳴門橋・うず潮」

「ふぐ マダイ マダコ わかめ しらす サワラ エビ カレイ ヒラメ ハモ」
(うず潮が育む海の幸)



1

主な地域資源

◆「淡路人形座」(淡路人形浄瑠璃)

淡路人形浄瑠璃は人形あやつり・浄瑠璃・三味線の三つの技芸が結びついて生まれました。江戸時代以降、人形浄瑠璃は歌舞伎と人気を競い合うほど大衆娯楽として広まり、18世紀前半には西日本を中心に全国巡業を行い日本各地に浄瑠璃文化を広めました。淡路人形浄瑠璃の伝統を引き継ぐ「淡路人形座」は国内のみならずアメリカ、アジア、オセアニア、20ヶ国で国外公演を実施しており、日仏国際交流事業「ジャポニズム2018」ではフランスのパリで公演し、日本文化の発信にも一役を担っています。



主な地域資源

◆「淡路瓦」

1

主な地域資源

三州瓦、石州瓦と並び日本三大瓦の1つである「淡路瓦」は重厚な色彩が特徴のいぶし瓦を中心に生産されています。淡路瓦は今から400年ほど前、由良成山城の築城を目的に播州の瓦職人を招いたのが始まりとされています。

南あわじ市では良質の粘土に恵まれ、瓦産業に適しているため多数の瓦製造業者があります。また、「鬼瓦」と呼ばれる装飾瓦の生産も盛んです。鬼瓦は邪気を払い建物を守る神として昔より広く使用され、現在は海外に輸出するまでになっています。

最近ではおしゃれなハンドメイドクラフトにも活用されており、体験教室も数多く開催されています。



1

主な地域資源

◆「南あわじ温泉郷(うずしお温泉)」

南あわじ温泉郷は6つの泉源があり、4ヶ所の日帰り入浴と20ヶ所を超える宿泊施設からなります。また、たこ壺やうず潮を模したユニークな足湯や鳴門海峡の絶景を望む施設などがあります。旅の疲れを癒し、普段の喧騒から離れて、心も体もリフレッシュしてみてください。





ふるさと名物

南あわじ市のふるさと名物

「うず」が育む伝統文化体験ツーリズム

鳴門海峡の渦潮は目に見える部分だけで直径約30mになり、大潮時には流速が時速約20km達します。これは世界一の規模です。また、太平洋側と瀬戸内海側で最大1.5mの段差ができるなどとても珍しい現象がみられます。これらは人類にとって普遍的価値を有するもので、南あわじ市では世界遺産登録をめざして活動をしています。何千年という長い時間をかけて出来上がった地形（鳴門海峡）から生まれるこの渦潮は、古来から和歌などに詠まれるなど、地域の文化に根付いてきました。同じく人形浄瑠璃や瓦産業といった伝統文化や地場産業の魅力を再発掘し、学び、伝え、次世代へ継承すべき資産である「ふるさと名物」であることを、ここに宣言します。

ふるさと名物の内容

2

ふるさと名物

モデルコース①



10:00 うずしお科学館
うず潮の神秘に迫る



12:00 瓦焼き肉
淡路瓦での焼き肉



14:00 人形浄瑠璃バックステージ
人形浄瑠璃の伝統に触れる



18:00 うずしお温泉
鳴門の夕日を見ながらの温泉

モデルコース②



10:00 瓦コースター作り
瓦ハンドクラフトの醍醐味



12:00 うず潮クルーズ体験
躍動する海流を体感



14:00 人形浄瑠璃
歌舞伎と並ぶ伝統文化を鑑賞



18:00 3年とらふぐ
濃厚なふぐの食感を堪能

3

独自の支援策



南あわじ市のふるさと名物 「うず」が育む伝統文化体験ツーリズム 今と昔が折り重なる情緒あふれる感動の旅

◆人材育成事業

地域資源の深みある魅力を余すところなく伝える伝統師・インタープリターとしてガイド養成し、「また行きたい。」と感じる淡路島のファン作りに貢献します。

◆商品開発・販路拡大事業

商工会等と連携し、既存サービスや商品のリニューアルや付加価値を高めるための商品開発会議・研修会を開催、新製品・サービスを評価改善するためのアンケート調査・モニターツアー等を実施します。

◆拠点施設の活用

人形浄瑠璃(淡路人形座)、うずしお科学館といった施設をこの事業の拠点施設とし、試行イベントなどに積極的に活用します。

◆WEBプロモーション

メルマガ、SNS、youtubeなどWEBを活用し、商品、イベントの広報、ふるさと名物に関する情報発信を行います。